

## 65. 市民風船バレーボールの普及活動

グループ名 穴生学舎やまびこの会

代表者名 井上 忠夫

### ① 活動の目的

市民風船バレーボールを通して、世代を超え、楽しみ喜びを共有すること。

チーム競技なので、互いに思いやる気持ちが生まれます。

全身を程よく動かすことから、心身を健康にする効果があります。

市民センターを運動の場として使うことから、身近な交流の場ができます。

平成10年の会発足から19年間の普及活動を通して、地元の方々と共に、ふれあい・健康・生き甲斐づくりに役立てることが私達の想いです。

### ② 活動の概要

#### (1) 市民風船バレーボールの魅力

競技は女性3名、男性3名でチームを編成します。障害のある方に積極的に参加して頂きます。障害者が3名に満たない場合は、障害者役を割り付け代行します。風船に全員が必ず一度はタッチすることを、取り入れた全員参加型のスポーツです。風船を直径40cmに膨らませ、鈴を2個入れてボールとして使います。風船は皮が薄く、軽く、空気の抵抗を敏感に受けます。風船は様々な振る舞いをします。この特性を上手にコントロールしながら、自コートでは優しくパス回しをし、相手コートには強く鋭い返球をします。

「互いに助け合う心」と「緩急の妙」が市民風船バレーボールの醍醐味です。

#### (2) 市民センターの多目的ホールを使った市民風船バレー

北九州市には小学校の校区毎に市民センターが設けられており、地元の方々の交流の場となっています。多目的ホールは、広さが市民風船バレーに適しており、又風船は施設を損ねることがなく、競技が可能です。家からすぐ近くに「場がある」ことの利便性が重宝されています。本年度に20番目のクラブチームが誕生しました。各市民センターでは毎週2時間、各箇所です市民風船バレーを楽しんでいます。私達会員はクラブ発足の協力、発足



20番目のクラブチームの誕生  
北九州市小倉北区 泉台市民センター

後にはクラブ員として加入し、定着化や技術指導などに協力しています。毎年6月に「市民センタークラブ対抗市民風船バレーボール交歓大会 in 若松」を開催しています。平成28年は28チーム250名が参加しました。

### (3) 特別支援学級児童と風船バレーで交流



児童達の風船バレー  
特別支援学級合同スポーツ大会

当会が発足時に始めに取り組んだボランティア活動は、会員の地元の養護学級の児童との風船バレーによる交流でした。市内5箇所の小学校の体育館で会員、担当教諭、保護者そして児童達でチームを編成し、風船の動かし方やおおよその約束事を伝え、交流を定期的に行いました。次第に風船バレーの楽しさや面白さ、そして協調することの大切さなどを、参加した皆さんが体験されました。そして参加された保護者や友人達が愛好者になり、その輪が地元へ広がってゆきました。

一方、担当教諭や児童達の好感度が近隣の学校に広まり、やがて市内全校の体育授業に取り入れられました。そして、現時点では市内7区で「合同スポーツ大会」を毎年開催するまでに普及しました。市民風船バレーボールは児童達、その保護者、そして担当教諭に愛され、重宝されています。

### (4) イベントに市民風船バレーが、地域の力を引き出す役割に

各校区の市民センターには、校区社会福祉協議会、町づくり協議会などの住みやすい町づくりのための組織とボランティアの皆さんが活動しています。その事業の中に「親子孫3世代間の交流」のイベントが開催されます。市民風船バレーが度々登場する場面があります。市民センターの風船バレーのクラブの方々や当会会員が運営スタッフとして、協力しています。大変賑やかで楽しいイベントとなっています。このふれあいこそ地域の力を引き出す役割を果たしていると喜んで頂いています。風船バレーの普及による「輪」が、しっかりと地元へ根付いてきていることを実感しています。



我が子とママ友 共に風船バレー  
北九州市若松区 青葉台市民センター

### (5) 普及活動を支える会員力の研鑽



「穴生学舎やまびこの会」の仲間達

私達、「穴生学舎やまびこの会」の会員は、毎月6回「風船バレー教室」を開き、ここに皆が集まり、語り合い、そして学び、技術の向上に努めています。北九州市との共催で「初級コース」の受講生を募り、指導し、会員となって頂くことを目的としています。私達は「中級コース受講生」として、参加しています。指導に必要な知識・技術・人との接し方などを相互学習しています。この研鑽が活動の源です。

### (6) 市民風船バレーボール大会の開催

この大会は、毎年10月に穴生学舎に隣接した「穴生ドーム」で開催しています。32チーム300名が参加し、互いの交流と技術を競い合う場です。当会と友好グループが一体となって、準備と運営を担う最大の行事です。児童、成人、そしてシニアが一同に会する、まさに「市民風船バレー」を体現しています。



70代の会員が若人に挑む優勝戦  
北九州市八幡西区 穴生ドーム

\*\*\* 大同生命様からの助成金は次の用途に活用させて頂きました。



「ユニフォーム」 普及活動で  
会員の一体感のシンボルです



「風船」「鈴」 教室、大会、  
体験会などに活用しました

(7) 平成28年度の活動計画とその活動実績 一覧表

活動内容	活動時期	活動対象地域	活動場所
市民センター クラブチームの指導	4回/ 月・C	市内20箇所 900回/年	各センターの 多目的ホール
市民センター対抗 市民風船バレーボール大会開催	6月8日	28チーム 250名参加	市立若松体育館
特別支援学級 風船バレー授業の交流	1回/ 月・校	市内16校 180回/年	各小学校の体育館
穴生学舎 風船バレー体育授業の指導	5講座	北九州市立年長者 研修大学校	穴生ドーム
風船バレー体験会に協力	10回/年	各地域の 健康づくり推進会	各箇所市民センター 小学校体育館など
地域イベント・ 風船バレー大会に協力	10回/年	各箇所の 校区社協	各箇所市民センター など
市民風船バレー教室の運営	毎月6回 72回/年	初級コース、中級コース の技能研修	穴生ドーム 勤青ホーム
外部主催大会への参加と 審判の協力	1年間 5大会	北九州、福岡市、 萩市、宇佐市	各箇所の体育館
市民風船バレーボール 北九州大会の開催	10月10日	32チーム 300名参加	穴生ドーム

③ 決算報告書

収入	大同生命厚生事業団助成金		100,000
支出	ユニフォーム	30着*2,000円/着+消費税	60,360
	風船、鈴	500個*90円/個+消費税	48,600
	大会開催 広報誌 作成	500部*21円/部+消費税	11,426
	合計		120,386